

コロナ禍における働き方を第2フェーズへ移行

出社とリモートワークを併用する「Hybridな働き方」へと進化

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎 以下、ぐるなび）は、2020年4月より「働き方進化プロジェクト」を立ち上げ、オフィスの集約をはじめ働き方改革を推進してまいりました。この度、2021年10月（※）より、これまで原則リモートワークとしていた第1フェーズから、より柔軟な働き方が可能となる第2フェーズへと移行し、「Hybridな働き方」へと進化します。

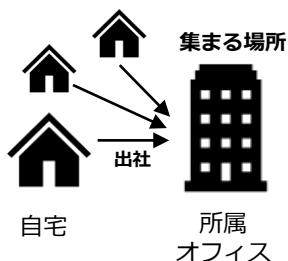
「Hybridな働き方」では、出社とリモートワークを併用することでフレキシブルな働き方や社員の集まり方ができ、より高い生産性を目指し、いつでもどこにおいてもコミュニケーションが可能となる働き方を構築します。

ぐるなびは、多様な人材が幅広く活躍できる働き方を目指して、働きやすさとやりがいの両面で環境を整備し、社員の働きがいを向上させるとともに「新しい働き方」をさらに推進させていきます。

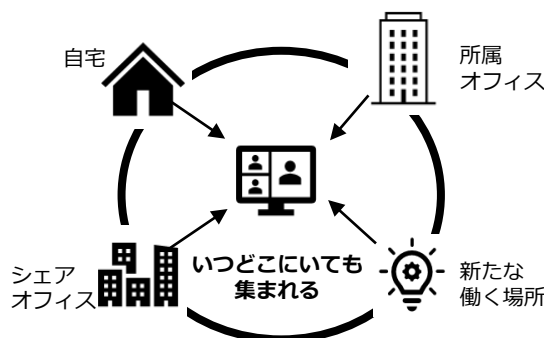
（※）東京都の緊急事態宣言解除後

Hybridな働き方

■これまでの働き方 -第1フェーズ- (原則リモートワーク)



■Hybridな働き方 -第2フェーズ- (出社/リモートワーク併用)



Hybridな働き方におけるオフィス利用

第1フェーズ

出社抑制	フリースペース席220席 + 固定席110席
	出社業務の目安設定



▲オフィスイメージ

第2フェーズ

■フリースペース席 440席の利用開放

全440席あるフリースペース席について、これまでは感染対策のため利用開放を220席までに調整していましたが、今後は、フリースペース席を全席利用可能とします。

■出社業務の目安の撤廃

書類提出や荷物受け取りなど、これまで出社目的として設けていた目安を廃止し、業務に応じて最適な環境を自由に選び、部署や個人の判断でオフィスへの出社を可能とします。

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp